

7 その他全般的事項

<保健医療科学研究科 保健医療科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で, 設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 授業評価アンケート ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況 (教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(教育研究上の理念・目的)

保健医療科学研究科は、本学の教育理念に沿った保健医療分野における研究者ならびに高度な専門職業人の養成を目的としている。理学療法士、作業療法士、臨床検査技師等の有資格者に対して、先端医療科学の専門知識と、高度な専門技術を教授するとともに保健医療分を科学的にとらえて学術的・理論的に研究していこうとするものである。基礎となる学部である「保健医療技術学部」やこれに隣接する領域の「大学院人間学研究科」「経営学研究科医療マネジメントコース」での養成実績を基に、医療・福祉の現場での専門職として確かな技術と使命感をもって行動できる能力を持ち、チーム医療体制の現場において、リーダーとして率先して対応できる高度専門職業人の養成を行っていくため、平成22年4月に開設した。

(設置の趣旨)

少子高齢化の進展やヘルスケアへの関心の高まり、障害者のケア、傷害予防、介護予防、健康保持や疾病予防、肥満防止による未病対策などに対するニーズが反映して、保健医療分野の大学の開設が増加、専門化が進んでいる現状にある。これにより多職種チームによる多角的なアプローチが益々必要とされ、各々の資格の範疇の知識や技術だけではなく、保健医療分野・健康に関する幅広い見識とチームワーク作り、強いリーダーシップが必須条件となる。また同時にこの領域における学問的な体系化はまだ発展途上にあるため、現場における諸問題の早期発見、解決できる能力があり、臨床研究を推進できる人材を育成する必要がある。本研究科の目的を達成するため全人的医療に対する高度な専門知識、技術を有し、他職種と協調と連携を図り、患者中心の医療を実践できる理学療法士・作業療法士・臨床検査技師を養成するとともに、専門分野での研究ができる人材をも養成する。リハビリテーションの領域、臨床検査の領域に関連の本学他研究科との共同研究も可能となるように工夫していく。

(総括評価・所見)

本研究科は平成22年4月に開設し第1期の国家資格免許を取得している入学者を迎え入れた。入学時には授業紹介プログラム説明会、履修ガイダンスを実施し、本学の理念および研究科の教育目標を理解してもらった。また、院生交流会を開催し本学で充実した研究生活を得られるよう教員・院生間での交流を深めた。院生各々は履修授業の他、特別研究を持ち、担当指導教授のもと修士論文計画をまとめ研究方針に沿って研究を進めている。他大学や検査分野専門のクリニックへの実習提携、他大学の施設利用のための締結をし、院生にさらに研究を深めてもらうよう環境を整えた。現時点において設置の趣旨・目的に沿って開始している。今後更により良い研究環境が整うよう検討していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・完成年度後、平成24年度を検討

本学では大学院学則に基づき、自己点検・評価を義務付けている。また、「自己点検・評価規程」を設け、実施組織、委員会の任務、運営委員会の任務を規定し、点検・評価項目を別表で定め、全教職員がデータ分析・実績の検証・記録の点検等を分担して行ない、毎年点検を行っている。これに加え、定期的(7年毎)に大掛かりな点検・評価を受けることにしている。毎年の点検・評価内容は、全学に関する事項、研究科・学部に関する事項、図書館事項、研究所等に関する事項、学生・就職事項、教務事項、事務局事項等網羅している。基礎となる保健医療技術学部(平成18年4月開設)が完成年度平成22年度現在、自己点検・評価を進行中のため、本研究科はでその結果を生かし完成年度後の平成24年度公表にむけて毎年の自己点検・評価を行っていく予定である。

b 公表方法

- ・大学ホームページでの公開予定
- ・学内図書館での配架、学内掲示版での公表予定 学内の将来構想委員会へ回付予定

③ 認証評価を受ける計画

大学全体として、平成16年度～平成17年度にかけて、学長を院長として各学部長、各種委員会委員長および全専任教員・職員が分担し、大学・大学院としての理念・目的、教育・研究を初めに大項目16・小項目約200について「自己点検・評価」を行ない、報告書をまとめた。平成18年4月3日に認証評価機関である財団法人大学基準協会に「自己点検・評価報告書」を提出した。平成18年度相互評価(書面審査、実地調査、面接調査)を経て、平成19年4月1日付、大学基準適合認定証を得た。次回認証評価機関による評価は平成25年を予定している。

(注) ・ 設置認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (22 年 7 月)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.u-bunkyo.ac.jp/ninka/index2.html>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。